

このままでは2050年までに海洋に存在する
プラスチックの量が魚の量を超過する

海洋プラスチック汚染問題

2019年1月17日

(印西地区ごみ減量アドバイザースキルアップ講習会資料)

浜辺に打ち上げられたプラスチックごみ



マイクロプラスチック(MP)が特に問題(1)

- MPとは、プラスチックごみが紫外線や波などで劣化し細かく砕けたものをいい、PCBやDDTなどの有害物質が吸着しやすいので、海の生態系に悪影響を与えると心配されている。
- 九州大学の調査によると日本近海のMPの密度は、 $3.74 \text{ 個} / \text{m}^3$ で、世界平均の27倍もあり「ホットスポット」である。
- 東京理科大学の調査によると、荒川や利根川、最上川、川内川などの全国の29河川ではMPの平均密度は $3.23 \text{ 個} / \text{m}^3$ で日本近海とほぼ同じだった。
- 街中にあるプラスチックごみの一部が雨水などと一緒に排水溝に流れ込み河川を經由して海に流れ込んだとみられる。
- 歯磨き粉、化粧品等に含まれているマイクロビーズなどの研磨剤にもMPが含まれている。

マイクロプラスチック(MP)が特に問題(2)

- 東京農工大学のチームの調査によると、東京湾でとれたカタクチイワシの内臓の約8割からMPが発見された。2016年で初めて
- 南極の海を船で網をひいて調べたところ、28万6千個／1km²のMPが認められた。これは北太平洋とほぼ同じ水準だった。
- 世界21カ国の海でとれた食塩を調べたところ、そのうち90%の食塩からMPが検出された。
- サンゴがMPを捕食すると、成長に必要な褐虫藻を取り込めなくなる。
- オーストリアの研究チームが世界8カ国8人の便を調べたところ、全員の便からMPが見つかった。人体への影響は不明（‘18年10月）

各国の主な使い捨てプラスチック製品の規制

- フランス ; 2016年からレジ袋の配布を禁止。20年からプラ製のカップや皿の販売を禁止
- 英国 ; 19年からプラ製のストローやマドラーなどの販売を禁止
- 欧州委員会 ; プラ製のストローやナイフの流通を禁じる新規制案を加盟国に提案
- インド ; モディ首相が22年までに使い捨てプラ製品の全廃を発表
- 台湾 ; プラ製のストローやカップ、レジ袋を30年までに全面禁止
- ケニア ; 17年にポリ袋の輸入、製造、使用を禁止。違反者には最長4年の禁固刑か4万ドルの罰金を科す通知を出した(世界で一番厳しい)

日本の対策

- 日本は、一人当たりの使い捨てプラスチックごみの発生量は世界二位(約32kg)／一位は米国で約45kg／全量では中国が一位(2014年約4千万トン)日本は2016年で899万トン(海への流出が約5.7万トン)
- 2018年6月にカナダで開かれたG7サミットで、使い捨てプラスチックの使用を大幅に削減する「海洋プラスチック憲章」が議論されたが、日本は米国とともに署名しなかった。
- 2019年6月に大阪で開かれるG20サミットで日本は「プラスチック資源循環戦略」を打ち出すことにしている。
- 具体的には、レジ袋の有料化や30年まで使い捨てプラスチック排出量の25%の削減等です。
- 海外ではレジ袋の販売や製造を禁止する国が40カ国を超えている。

われわれ市民にできることは何か？

- ごみの分別をしっかりと行い、できるだけプラスチックは資源物に！
- 買い物には、マイバックを持参し、レジ袋はもらわない。
- 外出のときには、マイボトルを持参し、ペットボトルを使わない。
- マイボトルに水道水を入れ、なくなったら給水スポットで補給する。
- クリーディー、グリーンディに参加し、居住地の周辺のゴミ拾いを！
- できるなら生分解性プラスチックの製品を買う。
- マイクロビーズの入った商品は買わない、使わない。
- 環境にやさしい製品を売る店を応援するため、そこで買い物をする。

他に何かアイデアがあったら教えてください！